

基本診療料に関する検討について(案)

1. 基本診療料のあり方の検討について

○「平成 24 年度診療報酬改定に係る答申書附帯意見」やこれまでの中医協における議論を踏まえ、当面、検討の全体像について下記 2. のとおり概ねの整理を行い、さらに必要な追加・修正を行うとともに、この中で次期改定に向けて具体的な検討を進める事項となお引き続き十分な検討を要すると考えられる事項(※・下記 3.)に整理した上で検討を進めてはどうか。

○これらの検討に当たっては、基本診療料の性格や位置づけ等に関する支払側・診療側の各側の考え方に基づいた、現行の診療報酬の現状・問題点を整理しつつ具体的な検討に繋げながら進めてはどうか。

(6月6日診療報酬基本問題小委員会での意見)

○入院基本料と外来診療の基本料は議論の性格も変わると思うので、それぞれに特化して審議すべきではないか。(安達委員)

2. 基本診療料のあり方の検討に係る全体像(案)

(1) 基本診療料に関する事項

①基本診療料本体に関する事項

ア 入院診療に関する事項

○入院基本料は、病院の機能や体制等の評価をめぐる医療上の必要性、あるいは保険財政の状況や保険医療機関の経営状況を踏まえ、これまでの診療報酬改定において分割・統合され、設定・改定が行われてきたと考えられるが(コスト調査分科会報告書)、入院基本料や特定入院料の性格や想定するサービス内容は何か。(※)

(6月6日診療報酬基本問題小委員会での意見)

○入院基本料の定義を明らかにすべきで、ワーキンググループなりで問題点整理をしたほうがいいのではないか。(西澤委員)

○ワーキンググループは必要であれば、2号側でやっていただければ良く、中医協の場でやる必要は全くない。(白川委員)

○医学管理料、看護料、室料・環境料等から構成され一体評価されている現在の入院基本料や、診療内容・特性に応じて包括化され設定されている特定入院料について、その水準、基準設定などそのあり方についてどのように考えるか。

→例えば、基準等を満たさない場合の診療報酬上の対応における課題はなにか。

○減額の在り方を見直して、できるだけ影響を少なくしていく必要があるのではないか。(鈴木委員)

イ 外来診療に関する事項

- 初診料や再診料の性格や想定するサービス内容は何か。(※)
- 様々な診療内容に共通して一律に設定されている初診料・再診料について、その水準、医学管理等の特掲診療料との関係などそのあり方についてどのように考えるか。

(6月6日診療報酬基本問題小委員会での意見)

- 初診料・再診料が同一となったが、病院と診療所では、初再診料の持つ重みが違うので、こういったものの在り方も検討してもいいのではないか。(鈴木委員)

→診療内容に一定の同一性がない場合は、下記(2)は難しいのではないかな。

②基本診療料と各種加算、特掲診療料との関係に関する事項

ア 各種加算に関する事項

- 各種加算について、簡素化、分かりやすさ、算定状況を踏まえたあり方についてどのように考えるか。
- 平成24年度改定での対応に引き続きどのような対応を進めるか。

イ 特掲診療料に関する事項

- 基本診療料に関する基本的な考え方を踏まえた上で、医療機関経営において、基本診療料や特掲診療料の占めるウェイトや役割をどのように考えるか。また、患者の分かりやすさや診療内容の反映しやすさという観点からの配分をどのように考えるか。(※)

(6月6日診療報酬基本問題小委員会での意見)

- 患者のわかりやすさについて、限られた財源を配分することになるので、基本診療料の比重を増やしていくことも考えられるのではないかな。(鈴木委員)

- 基本診療料と特掲診療料のバランスと役割をどのように考えるか。(※)

(2) コスト調査に関する事項

- コスト調査については、その意義付けや実施について、支払側・診療側各側の意見が異なることから、引き続き意見の調整を図ってはどうか。

(6月6日診療報酬基本問題小委員会での意見)

- コスト調査については、診療所は多様性があり、コスト調査が難しいので、いろんな分析の環境が整っている大病院の入院からしたらよいのではないかな。(鈴木委員)
- 点数をつけたときにコスト感覚を持たないとお互いに議論できないのではないかな。(西澤委員)
- 何か問題があるからそれを変えたいのか、そういう主張をしていただければ一定の理解はできるけれども、何をやりたいのかわからないので私どもは全く受けるつもりはない。(白川委員)

○一方、コスト要因の反映については、診療科の特性や算定状況の分布等を見ながら、具体的な検討が可能と考えられる分野から検討を進めるとともに、コスト調査の実行可能性を改めて検討してはどうか。((1)①イ)

3. 十分な検討を要すると考えられる事項(※は2. 中(※)の再掲・要約)

○診療内容に関するコスト要因の反映等の観点から、基本診療料の性格や想定するサービス内容をどのように考えるか。(※)

○基本診療料と特掲診療料のバランスをどのように考えるか。(※)

○これらを踏まえた診療報酬による評価の基本的ルールのあり方についてどのように考えるか。